

認知症施策に関する私たちの取組

(一社) 日本認知症本人ワーキンググループ (JDWG)

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に掲げられた以下の基本施策に関する活動に取り組んでいます

- ①【認知症の人に関する国民の理解の増進等】
- ②【認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進】
- ③【認知症の人の社会参加の機会の確保等】
- ④【認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護】
- ⑤【認知症の人の生活の質の向上】
- ⑥【認知症の人の社会参加の促進】
- ⑦【研究等の推進等】* 研究に当事者として参画

●全国版希望大使の活動推進



認知症本人大使
(全国版希望大使)から
全国の当事者、国民へ
希望のある生き方・出会い、
認知症バリアフリー、地域
づくり等の提案、エール

●地域版希望大使の活動推進



オンライン希望大使交流会を企画
(JDWG自主企画)



zoomにチャレンジ!



本人がデイサービスで
勤務: 利用者のリハビリ
を当事者として支援

●ピアサポート活動



認知症疾患医療センターの
オレンジカフェで、非常勤相
談員としてピアサポート活動。
次に続く人も出てきた



県のピアサポーターとして、
ご家族等からの相談を受
けて、県内各地に出向き、
本人・家族が前向きな暮ら
していけるようにサポート

●本人ミーティング



コロナ禍でも、工夫をしながら、
本人ミーティングを開催

仲間との出会い、本人発信、
本人の声から社会参加の
機会づくり、声を集めて行
政等への提案を継続

●多領域の研究事業に当事者として参画

厚生労働省、経済産業省、国土交通省、法務省等

「認知症とともに生きる希望宣言」をスタートに、私たちは「希望のリレー」を様々な人と一緒に進めてきています。認知症発症前も、発症後も、症状が進行する中でも、国民みんなが、希望をもって暮らしていける価値観を共有した活力ある社会にむけて、自治体をはじめ日本認知症官民協議会を構成するさまざまな団体のみならず、私たちも、引き続き力を尽くしていきます。

認知症とともに生きる 希望宣言

- 1 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
- 2 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
- 3 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- 4 自分の思いや既往を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩いていきます。
- 5 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

「希望のリレー」

* 全国の認知症の本人に「認知症とともに生きる希望宣言」を届け、
希望を持って暮らしていく人を増やしていく。

* さまざまな領域の人たちに「認知症とともに生きる希望宣言」を届け、
賛同・活動の輪を広げていく。

* さまざまな領域で、
認知症、認知症の人への見方・関わり方を変えていく。

